



地(知)の拠点

平成30年度 第6回「倉敷みらい講座」

地域とともに取り組む炊き出しシミュレーション

災害時の食事提供は、発災時の混乱した状況だけでなく、長い避難所生活の日々を見通した準備が必要です。とくに高齢者や病気の人、障害者や赤ちゃんなど災害弱者の人々に対しては、一人ひとりに合った食事（展開食）を準備しておくことが必要です。くらしき作陽大学では、栄養士養成教育において、災害時に被災者一人ひとりを支える食支援ができる災害食コンシェルジュを目指しています。今回の「倉敷みらい講座」では、実際の災害時を想定したシミュレーションを、大学と他団体及び地域住民が連携して行います。美味しい炊き出しの試食もごさいます。



日時

2018年 **6月19日** (火)
11:00~14:15
(受付開始 10:30~)

会場

くらしき作陽大学
図書館前（テント設営）
※雨天5号館1階 107教室 114教室
〒710-0292 倉敷市玉島長尾3515

展開食の展示/会場：図書館前テント

- 11:00 学生による炊き出しの実演
5号館107教室（見学可）
- 12:45 炊き出しシミュレーション（試食）
- 13:20 開会挨拶 食文化学部長 宮本 拓
講話：災害時の心構え
倉敷市防災危機管理室 河田 貢之 氏
倉敷市玉島消防署北出張所
学生による実践発表
「特別な配慮が必要な方への災害食」
グループディスカッション
- 14:15 閉会の挨拶 食文化学部 現代食文化学科
学科長 額田 真喜子

特別講義

定員300名・申込不要・参加無料です。お気軽にご参加下さい。



くらしき作陽大学



倉敷市



倉敷芸術科学大学

KURASHIKI UNIVERSITY OF SCIENCE AND THE ARTS